

経済振興委員会報告資料

九州大学箱崎キャンパス跡地の まちづくりにおける 経済観光文化局の検討状況について

令和4年9月
経済観光文化局

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりにおける 経済観光文化局の検討状況について

I 報告の趣旨

- 九州大学箱崎キャンパス跡地等については、住宅都市局を中心に、グランドデザイン（平成30年7月策定）の実現に向け、土地所有者である九州大学などと連携し、周辺地域との調和・連携・交流に配慮した多様な機能の誘導や一体的なまちづくりなどに取り組んでいる。
- 令和4年度末に土地所有者である九州大学などが事業者公募の開始を目指しており、今回、九州大学箱崎キャンパス跡地等におけるまちづくりについて、住宅都市局が福祉都市委員会へ報告することから、経済観光文化局のイノベーションや賑わいの創出等の同地域における検討状況について報告するもの。

II 経済観光文化局の検討状況

1 まちづくりへの水素実装

市民生活への水素エネルギーの実装や新たな需要創出に向けて、最先端の技術導入による課題解決に取り組んでいる九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりにおいて、水素社会の実現に向けたモデルとなるよう、水素の供給や利活用について検討を進める。

(1) 水素エネルギー供給施設の整備

まちづくりにおける水素利活用の促進に向け、「水素ステーション」や、水素の供給手段として「水素供給パイプライン」の整備について検討を進める。

(2) 水素エネルギー利活用に関する取組み

水素の普及促進や需要創出に向け、市民や事業者に対し水素を利活用できる機会を提供するために、公共施設（箱崎中学校など）や民間施設において純水素燃料電池を導入するとともに、FCVカーシェアなどの導入について検討を進める。

(3) 今後の進め方(案)

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりの進捗等を踏まえ検討を進める。

令和5年度以降 供給施設や利活用機器の設計・整備

2 立地交付金による企業進出支援

Fukuoka Smart Eastの実現に向けて、AI・IoTなどのテクノロジーを持つ企業等の立地を後押しできるよう、立地交付金制度の改正を検討していく。

(改正の方向性案)

- ・九大箱崎キャンパス跡地等を重点地域に位置付け
- ・研究開発拠点を設置するスマートサービス関連企業、イノベーション創出機能を有したサービスオフィスへの支援

※改正時期は、九大箱崎キャンパス跡地等の公募等のスケジュールによる。

3 スタートアップ関連事業との連携による支援

九州大学箱崎キャンパス跡地において、スタートアップの成長を支援する機能を有する施設が設置される場合、当該施設の運営事業者と協議のうえ、市のスタートアップ支援施策において、当該施設への入居促進やイベントの連携開催等の支援に取り組む。

4 箱崎地区元寇防塁の整備・活用について

九州大学箱崎キャンパス跡地で確認された元寇防塁を、福岡を代表する歴史資源として磨き上げ、賑わいの創出を目指すとともに、周辺の歴史資源を含めた一体的な活用を図るための整備・活用手法等の検討を進める。

(1) 整備・活用の基本的な考え方

九州大学箱崎キャンパス跡地で確認された史跡元寇防塁では、確実な保存のため石積み遺構等について埋め戻しを行っているが、Fukuoka Smart Eastに取り組む先進的なまちと調和した空間として、その歴史的価値を高める取組みを進め、誰もが歴史に触れ、憩うことができる場づくりを検討していく。

(整備・活用のイメージ)

- ・石積み遺構等の確実な保存継承
- ・そこに暮らす誇りや歴史に対する関心の醸成
- ・先進的なまちづくりに調和したインクルーシブな整備
- ・多様な来訪者の憩い・交流の場となる空間の創出
- ・元寇防塁を活かした周遊の促進

(2) 今後の進め方(案)

九州大学箱崎キャンパス跡地等のまちづくりの考え方や進捗に合わせて検討を進める。

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 令和4年度 | 史跡指定地(南地点)の市による用地取得及び整備案の検討着手 |
| 令和5年度以降 | 南地点整備案の具体化、工事着手、供用開始 |
| | 史跡指定地(北地点等)の市による用地取得及び整備案の検討 |

Ⅲ 九州大学箱崎キャンパス跡地等 関連施設位置図

